

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおいにぎわいのある親しまれる港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 水族館事業担当課長	
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	名古屋港水族館の振興			連絡先	052-654-7816	
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者			事業期間	平成18年度～
	意図(どういう状態にしたいか)	海洋文化の普及に努めます。				
概要	水族に関する知識を広め、水族への親しみを深めることにより、県民・市民の自然環境に対する意識の高揚を図るとともに、健全な余暇の活用に資する名古屋港水族館の振興を図ります。			根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例、名古屋港水族館条例	
令和元年度の実施予定	水族の飼育・繁殖・展示を行い、施設を良好に管理しながら、更なる魅力向上による一層の集客に努めていきます。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連シート		

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	平成31年3月にリニューアルオープンした「ウミガメ回遊水槽」や特別展「寿司ネタ大集合～水族館が斬る！寿司のいろいろ～」、「カラフルコレクション～絢爛華麗な水の生き物たち～」がメディアで話題を呼び好評を得るとともに、テレビCMやWebを活用した広告宣伝を始め、県外地域へも広報活動を積極的に行い、入館者数が平成4年開館以来初の3年連続、200万人を超えました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、令和2年3月2日から3月31日まで臨時休館しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	1,090,240	745,645	898,448	911,444	
人件費	千円	24,813	31,345	39,448	31,869	
合計	千円	1,115,053	776,990	937,896	943,313	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
入館者数(万人) (単年度管理型)	目標	221	221	220	230	過去の実績等を踏まえた目標入館者数	天候、景気
	実績	222	211	200			
来館者の満足度(%) (単年度管理型)	目標			80	85	来館者へのアンケート実施結果	
	実績			98			
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	入館者数が平成4年開館以来初の3年連続、200万人を超えたものの、感染拡大の防止のための臨時休館等により、目標(220万人)には届きませんでした。なお、感染症の影響がなかった場合は、平成30年度の実績に照らすと、目標は達成可能であったと考えられます。また、来館者の満足度については、目標80%に対し、98%と非常に高い評価を得ました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	<input type="radio"/>	親しまれる港づくりを推進するため、本組合が関与する必要があると考えております。また、広く一般の利用を対象として海洋文化の普及に努めており、利用者ニーズや社会環境に適合しています。					
有効性	<input type="radio"/>	入館者数は、目標値を下回りましたが、開館以来初めて3年連続で200万人を超え、多くの人が訪れる施設となっており、本港の継続的なにぎわい創出に貢献し、成果を得ています。イルカのパフォーマンスやサチの公開トレーニング、マイワシトルネードなどのイベントに加え、特別展も好評であり、来館者の満足度については、98%と非常に高い評価を得ました。					
効率性	<input type="radio"/>	施設の維持修繕等は優先順位を定め、最少のコストで最大の効果が得られるよう努めています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	拡大	拡大	新型コロナウイルスの影響による臨時休館で入館者数の大幅な減少が見込まれるため、必要な管理経費を支出し営業を再開し入館者数を回復する必要があるため。
	資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
課題		2年度以降の取組	
来館者に安全・安心して観覧してもらえるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を強化する必要があり、また、引き続き、水族に関する知識を広め、水族への親しみを深めることにより、海洋文化の普及に努めていく必要があります。		新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を実施するとともに、水族館の活動や水棲生物への興味・理解を深めてもらえるよう、Web等を活用した情報発信など、新たな取組を進めていきます。	